

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY 灘BBプラザ校		公表日		2026年 2月 27日	
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内に限られた空間であるため、「歩きます」などの約束事を丁寧に伝え、けがの予防に配慮した支援を行っています。</li> <li>・子どもが一人で外へ出てしまうことがないように、安全ゲートを設置し、安全管理を徹底しています。</li> <li>・教室内に水場がない環境ではありますが、水の量の調整や適切な声かけを行うことで、水回りの行動に変化がみられてきています。</li> <li>・利用されるお子さまの年齢や発達特性、課題に応じたカリキュラムを設定し、一人ひとりに合った支援を行っています。</li> <li>・利用頻度を増やしたいというご相談をいただくこともあり、お子さまの成長を実感していただける支援につながっていると感じています。</li> <li>・改善すべき点については、職員同士で日々振り返りや話し合いを行い、安全面や心身の状態に寄り添った支援を継続しています。</li> <li>・日曜日の食の活動についても、内容や進め方が徐々に改善され、より良い活動になってきています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員棚を設置するときには、空間の使い方について引き続き検討が必要です。</li> <li>・事務所スペースが限られているため、業務環境の改善が今後の課題です。</li> <li>・日曜・祝日の食の活動スペースを、もう少し広く確保できるとより良いと考えています。</li> <li>・室内にトイレが設置されていると、利便性や安全性の面でさらに安心してご利用いただけると感じています。</li> </ul>		
	2	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数体制の中でも、指導員同士の信頼関係を大切に、それぞれの能力やチームワークを発揮しながら支援を行っています。</li> <li>・急なシフト変更や予定の調整が必要な場合でも、職員間でこまめにコミュニケーションを取り、臨機応変に対応しています。</li> <li>・人員に限られる場面においても、安全を最優先に考えながら、役割分担や声かけを工夫して運営しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまのトイレ対応や送迎対応の際に、一時的に指導員が少なくなる場面があり、室内の人員が手薄になることがあります。</li> <li>・日曜・祝日に出勤できるスタッフが限られているため、無理のない形で順番に勤務を回せる体制づくりが今後の課題です。</li> <li>・人員配置を整えている中でも、不測の事態が起こった際に、出勤している職員同士でより丁寧に話し合える体制が整うと、さらに良い支援環境を提供できると考えています。</li> </ul>		
	3	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内はバリアフリー化されており、安心して過ごせる環境づくりを行っています。</li> <li>・机の配置についても、活動内容や動線を意識した工夫をしています。</li> <li>・室内の角になる部分には、柔らかい素材を用いるなど、安全面への配慮を行っています。</li> <li>・指導員の行動や声かけについては、職員間で統一を図り、お子さまに分かりやすく伝わるよう工夫しています。</li> </ul>			
	4	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯物は壁際の上部に干すなど、動線や安全面に配慮した環境づくりを行っています。</li> <li>・教室内の清掃を丁寧に、利用されるお子さまが安心して過ごせるような環境を整えて迎えています。</li> <li>・新しい環境や教具の配置についても、活動のしやすさや安全性を考慮し、工夫を重ねています。</li> <li>・教室内に加湿器を設置し、快適で過ごしやすい室内環境づくりに取り組んでいます。</li> </ul>			
	5	2	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室や一時的に机で区切るなど、空間を工夫して落ち着いて活動できる環境づくりを行っています。</li> <li>・利用されているお子さま一人ひとりのカリキュラム内容を工夫することで、活動に集中しやすい支援につなげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、必要に応じてパーテーションを導入などを検討させていただきます。</li> </ul>		
業務改善	6	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の時間帯に、お子さまの情報共有やヒヤリハット、事故報告などがあつた際には、速やかに職員間で話し合う機会を設けています。</li> <li>・日頃から職員同士でお子さまの様子や情報を共有しており、発達段階や特性を踏まえた支援について話し合える体制を整えています。</li> </ul>			
	7	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管を中心に個別支援計画を作成し、各ご家庭とも連携しながら、短期目標・長期目標に沿った取り組みを行っています。</li> </ul>			
	8	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からないことや疑問点があつた際には、その都度相談しやすい環境があり、現場での対応についても、より良い支援につながるよう適切な助言を行えるよう心がけています。</li> </ul>			
	9	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、利用者様・社内の2者評価となっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価を行っていないですが、今後は必要に応じて検討をしていきます。</li> </ul>		
	10	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日に研修へ参加できない場合でも、後日アーカイブ受講できる体制が整っています。</li> <li>・エリア別・教室別・個別など、目的に応じた研修を受けることができ、職員一人ひとりの理解やスキル向上につながっています。</li> <li>・多忙な業務の中でも、研修を業務の一環として計画的に取り入れ、学びを継続できるよう工夫しています。</li> </ul>			
11	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族からの情報や、通われている保育園・幼稚園での様子、発達診断の内容などを踏まえ、一人ひとりの状況に応じた支援を行っています。</li> <li>・お子様が活動する環境調整やカリキュラムを通じて、個別対応も含めた丁寧な支援ができるよう心がけています。</li> </ul>				
12	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にヒアリングを行ったうえで支援計画を立てており、お子さま一人ひとりの状況に応じた支援ができるよう心がけています。</li> </ul>				
13	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援について、ミーティングや日報を通じて職員間で情報共有が行っています。</li> </ul>				
14	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画をいつでも確認できる体制が整っており、計画内容についても、職員間で毎回共有しています。</li> </ul>				

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまのカリキュラム以外のフリーの時間においても、一人ひとりの発達特性に合わせた見守りや観察を行っています。</li> <li>・必要に応じて大人が見本を示し、初めての経験にも安心して取り組めるようサポートしています。</li> </ul>	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまの発達特性や年齢、家庭環境を踏まえ、ご家庭でも取り入れやすい関わり方を、具体例や通所中の様子を交えて保護者様にお伝えできるよう心がけています。</li> <li>・声かけの方法についても、どのように伝えると分かりやすいかを職員間で日々工夫しながら共有しています。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員同士や児発管と日常的に相談できる体制が整っています。</li> <li>・その日の担当指導員だけでなく、複数の職員がさまざまな視点で関わることで、偏りのないバランスの取れた支援につながっていくよう職員一同心がけています。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用されているお子さまが、より楽しく興味を持って活動に参加できるよう、環境の調整や声かけを工夫しています。その結果、お子さまが安心して過ごすことができ、笑顔あふれる環境につながっていると考えています。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達特性の違いはありますが、個別支援だけでは得にくい小集団での活動を通して、協調性や社会性が育まれるようなカリキュラムを提供できるよう心がけています。</li> <li>・順番を待つことや譲り合うこと、相手を思いやる気持ちが育つよう、適切な環境を整えながら支援しています。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士のチームワークが良く、日々の連携が取れています。</li> <li>・毎日朝礼を行い、情報共有や一日の流れを確認することで、見通しを持って支援に取り組める体制を整えています。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日の支援内容については、翌日の朝礼で振り返りを行い、お子さまの成長や課題点を共有しています。</li> <li>・振り返り際には、お子さまの様子だけでなく、職員の関わり方についても確認し、必要に応じて聞き取りや助言を行っています。</li> <li>・同じような困りごとが繰り返されないよう、事前に対応策を検討し、支援に活かしています。</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援ファイルの整理や日報の記入を行い、日々の支援内容を記録しています。</li> <li>・どの職員もメモを取りながら、支援の経過や気づきを記録として残すことを大切にしています。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始後、お子さま一人ひとりの発達特性に応じた課題に継続して取り組めるよう職員一同心がけています。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科医が隣接しているため、医療に関する情報を速やかに共有できる環境が整っています。</li> </ul>	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園等との連携として園訪問を行い、集団生活での課題や園の先生方の困りごとについて共有しています。</li> <li>・事業所のできる関わりや支援方法、具体的なアドバイスについて意見交換を行い、相互理解を深めながら連携を図っています。</li> </ul>	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学時の移行については、児発管が中心となって対応しています。</li> </ul>	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5		現在は、行えていないため今後は必要に応じて検討をしています。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		現在、地域の地域のお子さまと活動する機会はありませんが、今後は必要に応じて検討をしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	利用当日の様子などを送迎時に保護者の方にお伝えするようにしています。また、気になることなどがあればお電話するなど共通理解がもてるように心がけています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、会社として外部の講師による保護者向けの講演会や親子で参加できる活動など行っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時には説明をさせて頂いております。また、必要に応じてお手紙を配布したり、電話で説明を行うようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・個別支援計画の更新時には、保護者様との面談を行い、ご要望を伺いながら、お子さまにとって必要な支援について話し合う場を設けています。 ・計画更新時以外でも、保護者様からのご相談や困りごとがあった場合には、電話や面談などを通じて丁寧に対応できるように心がけています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画を示しながら内容を説明し、確認していただき同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	随時ご相談をお受けし面談・助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	保護者茶話会を開催し保護者同士が交流する機会を設けております。	きょうだい同士での交流の機会は現在設けておりませんが、今後はニーズに応じて検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談をお受けしたその時に回答したり、校に持ち帰り支援者全員で共有・会議して回答するなどできる限り迅速かつ丁寧に対応させていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	マンスリーレポートを作成・配布し活動内容の情報を発信しております。また、SNSやアプリを利用して情報をお伝えすることもあります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報は鍵のついたキャビネットで管理しております。また、個人名の入った書類を配布する場合にもお名前前のチェックなど留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	先の見通しがもてるように事前に伝えたり、視覚的に分かりやすくするなどお子様に合わせた関わりを行っています。また、保護者の方には送迎時や電話、公式LINEなども活用しながら円滑に情報伝達ができるように努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	事業所が入るビル内で行われるイベントには積極的に参加し、地域に開かれた運営を図れるよう計画中です。	今後も、イベントなどに積極的に参加し地域との交流を図っていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを完備し、職員間での共有、発生を想定した訓練を実施しています。また、マンスリーレポートで訓練実施を保護者の方に周知しております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	業務継続計画を策定しています。また、避難訓練を実施し定期的に避難バックの備品など確認も行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に、服薬やアレルギー、てんかん発作などがあるか確認しています。また、面談などでお子さまの状況を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	契約時の確認と、飲食を伴う活動がある際には都度保護者様へ通達と原材料のお知らせ、また当日ご利用前にも体調確認を行うなど確認を重ねながら進めています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	年度初めに計画を作成し、毎月計画に基づいた訓練や研修を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	契約時に、緊急時の連絡先やお子様を引き渡す際の保護者引き渡しシートに必要な情報の記入をお願いしています。また、安全計画に基づく取組内容は教室の入口に掲示しています。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	発生した場合は、すぐに職員間で共有ミーティングを行い、再発防止に努めています。		

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	入社時と毎年研修を行っています。また虐待防止委員会を開催し適切な対応ができるように話し合っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	やむを得ず身体拘束を行う場合の組織的なルールを明確にし、身体拘束を行う必要がある場合には、お子様や保護者への十分な説明や個別支援計画書に記載いたします。	